

令和 6 年度仙台市都心部遊び場調査業務委託
- 報告書 -

令和 7 年 3 月

【目次】

第1章 本業務の目的	・・・ p1
第2章 実施概要	・・・ p2
1 遊び場の企画運営等	・・・ p2
(1) 日程及び会場	
(2) コンテンツの方針	
(3) 各会場のコンテンツ	
2 都心部の遊び場における子育て家庭の動態及びニーズ調査等	・・・ p4
(1) アンケート調査	
(2) ヒアリング調査	
3 広報	・・・ p6
(1) チラシ	
(2) WEB	
(3) のぼり	
(4) ノベルティ	
4 来場者数のカウント方法	・・・ p10
第3章 実施結果	・・・ p11
1 各会場の実施結果	・・・ p11
(1) 西公園北側地区	
(2) 一番町四丁目商店街	
(3) 定禅寺通中央緑道	
(4) ノベルティによるイベント回遊	
2 アンケート結果	・・・ p23
(1) 各会場の結果概要	
(2) 小括	
3 ヒアリング結果	・・・ p29
(1) 西公園北側地区に係るヒアリング結果概要	
(2) 一番町四丁目商店街に係るヒアリング結果概要	
(3) 小括	
第4章 考察	・・・ p41

第1章 本業務の目的（仕様書より抜粋）

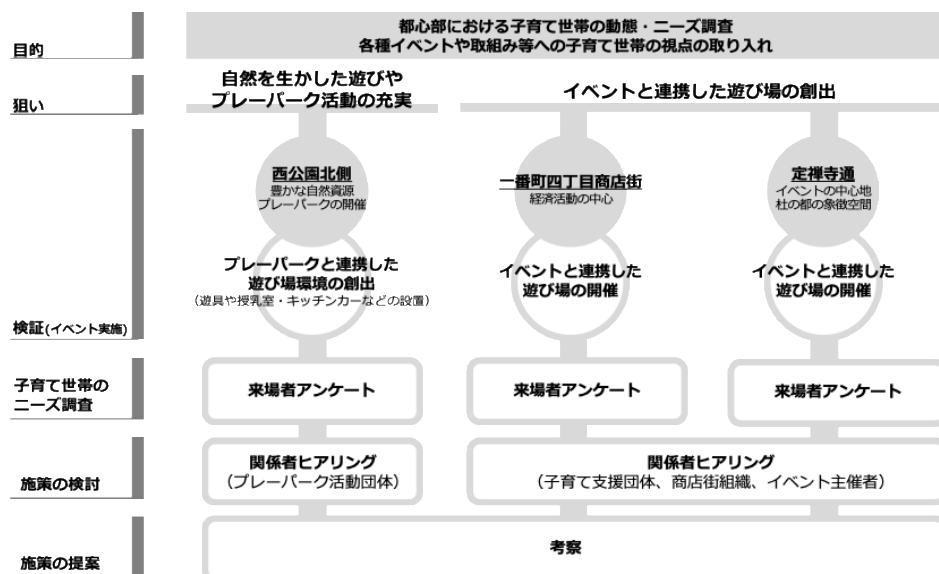
少子化の進行や共働き家庭の増加、地域におけるつながりの希薄化など、社会状況の変化によって、こどもの育ちや子育て家庭の生活に様々な影響が生じており、次代を担う子どもたちが健やかに成長し、子育て家庭が孤立せず、安心してこどもを産み育てることができるまちづくりが求められている。特に、こどもの遊びの環境の充実については、子育て家庭を中心に非常に高い関心が寄せられており、遊びを通じた子どもたちの心身の成長や保護者の育児負担の軽減という観点からも重要な施策である。

「令和2年度仙台市遊びの環境に関する調査・研究」では、子育て家庭への「保護者アンケート」や子育て支援団体・高校生などへのグループインタビュー、こどもの発達段階と利用頻度を軸とした遊びの環境の整理等により、本市の遊びの環境の特徴や子育て家庭のニーズ等を取りまとめた。

令和4年度は場所や季節等を変えながらこどもの遊び場を仮設し、こどもと子育て家庭の遊び場の利用実態やニーズ等を把握しながら、本市にふわしい遊びの環境の充実に向けて検討を深めることを目的とした実証実験「あ・そ・び・ば 仙台」を実施した。

本業務では、都市機能と自然が調和した「杜の都・仙台」を象徴するエリアであり、まつりやイベントなど賑わいの中心かつ商店街等の経済活動の場である、西公園・一番町四丁目商店街・定禅寺通周辺に、こどもの遊び場や子育て家庭が楽しめる機能を一体的に配置し、本エリアにおける子育て家庭の動態やニーズ等を調査する。本調査をとおして、本エリアにおけるこどもの遊び場の意義づけを整理するとともに、各種イベントや取組み等へ子育て世帯の視点を取り入れることを促進することで、子育て世帯にとって居心地がよく、さらには、こども・子育て家庭の交流の場となることを目指すものである。

（検討フロー）



第2章 調査の実施概要

1 遊び場の企画運営等

(1) 日程及び会場

次の条件、狙いをもとに調査を実施した。

実施日	会場	狙い	連携先
	西公園北側地区 (中央広場付近)	日常的に開催されるプレーパークとの相乗効果が期待される遊びコンテンツや設備等についてのニーズを把握する	【全日】 西公園プレーパークの会
9/20 (金) 9/21 (土) 9/22 (日)	一番町四丁目商店街 (仙台三越定禅寺通館前)	商店街で開催されるイベントと連携した遊び場のニーズを把握する	【9/20,9/21】 moreTOHOKU マルシェ (more TOHOKU マルシェ運営事務局/一番町四丁目商店街振興組合)
	定禅寺通中央緑道 (せんだいメディアテーク前)	四季を通じてまつりやイベントが多く開催される定禅寺通において遊び場のニーズを把握する	【9/22】 SENDAI SDGsWEEK (仙台青年会議所)

(2) コンテンツの方針

令和2年度及び令和4年度に実施された業務での成果を踏まえ、本業務においては次の2点に留意し実施コンテンツを計画することとした。

- ・自発的な遊びが生まれるよう最大限配慮すること
- ・一回性の企画ではなく、コンテンツの継続性・再現性を重要視すること

(3) 各会場のコンテンツ

上述の方針を踏まえ、各会場では次のコンテンツを計画した。なお、天候の影響により中止や一時的な実施見合わせが生じた。

① 西公園北側地区

実施日	計画コンテンツ	中止等
9/20 (金) 10:30~16:00	・コンテナ (授乳室・おむつ交換室・更衣室) ・キッチンカー ・テーブルセット ・日除タープ ・遊具 (mopps、木製平行棒) ・サークルベンチ ・育児相談コーナー ・プレーパーク (西公園プレーパークの会協力)	・テーブルセット →10:30~14:00 雨天中止 ・mopps →10:30~14:00 雨天中止 ・育児相談コーナー →終日雨天中止
9/21 (土) 10:30~16:00	・コンテナ (授乳室・おむつ交換室・更衣室) ・キッチンカー ・テーブルセット ・日除タープ ・遊具 (mopps、木製平行棒)	・テーブルセット →終日雨天中止 ・mopps →終日雨天中止 ・育児相談コーナー

	・サークルベンチ ・育児相談コーナー【任意】 ・プレーパーク（西公園プレーパークの会協力）	→終日雨天中止
9/22（日） 10:30~16:00	・コンテナ（授乳室・おむつ交換室・更衣室）【必須】 ・キッチンカー【必須】 ・テーブルセット【必須】 ・日除タープ【必須】 ・遊具（mopps、木製平行棒）【任意】 ・サークルベンチ【任意】 ・育児相談コーナー【任意】 ・プレーパーク（西公園プレーパークの会協力）	・テーブルセット →終日雨天中止 ・mopps →10:30~15:00 雨天中止 ・育児相談コーナー →終日雨天中止

② 一番町四丁目商店街

実施日	計画コンテンツ	中止等
9/20（金） 10:30~16:00	・街のプレーパーク（幼児向け） ・プレーキット ・道路での落書きアート ・遊具（mopps）	・mopps →終日雨天中止 ・道路での落書きアート →規模縮小
9/21（土） 10:30~16:00	・街のプレーパーク（幼児向け） ・プレーキット ・道路での落書きアート ・手作り遊具	・街のプレーパーク →終日雨天中止 ・道路での落書きアート →規模縮小
9/22（日） 10:30~16:00	・街のプレーパーク（幼児向け） ・プレーキット ・道路での落書きアート ・手作り遊具	・街のプレーパーク →終日雨天中止 ・道路での落書きアート →規模縮小

③ 定禅寺通中央緑道

実施日	計画コンテンツ	中止等
9/20（金） 10:30~16:00	・手作り遊具	
9/21（土） 10:30~16:00	・遊具（mopps）	雨天中止
9/22（日） 10:30~16:00	・工作ワークショップ	雨天中止

2 都心部の遊び場における子育て家庭の動態及びニーズ調査等

(1) 当日アンケート調査

① 来場者（保護者）

各会場において紙面記入及び Web 入力により以下の内容の調査を実施した。

(ア) 属性・会場利用実態

年代、性別、利用者の居住区、来訪頻度、移動手段、来街目的、こどもの年齢、会場での滞在時間

(イ) 会場の感想

コンテンツ別の評価

(ウ) 遊び場や子育てに関する機能等のニーズ

(エ) その他自由意見

なお、定禅寺通中央緑道会場においては、開催期間のうち2日間が雨天中止となったことから、別日に定禅寺通で開催された他イベント（9/27,28 開催ゼロカーボン PR イベント「JOZENJI STREET Zero-carbon Challenge」）において補足調査を実施した。

《アンケート回答数》

- ・西公園北側地区 : 53 件
- ・一番町四丁目商店街 : 111 件
- ・定禅寺通中央緑道 : 1 件（+補足調査 10 件）

② 来場者（子ども）

各会場においてパネルを用いたシールアンケートを以下の内容で実施した。

(ア) 楽しかった遊び（選択式）

(イ) 街中の遊び場に「あったら楽しいな」「あったらいいな」と思うもの（自由記述式）

(2) ヒアリング調査

都心部における遊び場の充実を目指し、都心部の遊び場環境に関連する各分野から以下の団体に対しヒアリングを行う。

分野	団体名
プレーパーク活動団体	西公園プレーパークの会
子育て支援団体	NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク
イベント主催者	株式会社ユーメディア
	Sendai Development Commission 株式会社
商店街組織	一番町四丁目商店街振興組合
	一般社団法人まちくる仙台

3 広報

(1) チラシ

チラシ（A4・片面カラー）では遊び場の楽しさを色調やデザインで表現しつつ、企画概要及び連携イベントの情報を記載する構成とした。

なお、チラシの配架先は下表のとおり。



配架先	箇所数	枚数	合計
児童館・市民センター	113	10	1130
のびすく	5	10	50
子育て関連グループ	5	20	100
関連プレーパーク	10	20	200
近隣店舗(227 カフェ)	1	20	20
オクトーパフェスト (9/6~23)	1	100	100
moreTOHOKU マルシェ(9/20~21)	1	100	100
SDGsWEEK(9/22~28)	1	50	50
ハイウェイフェスタ(9/21~22)	1	100	100
青葉区役所	1	100	100
こども若者局	1	100	100
IDOBA (定禅寺ヒルズ 5F)	1	50	50
当日の各会場	3	100	300
合計	—	—	2400

(2) WEB

① せんだいタウン情報 machico

地域コミュニティサイト「machico」(<https://machico.mu>)において、本業務の実施内容を紹介する特集ページを開設し広報を行った。

合わせて、独自のコメント投稿機能により、特集ページに対するユーザーからの反応・意見を収集するとともに、情報の拡散性も考慮し machico のアカウントを使った SNS の展開やメルマガ配信を実施した。

【特集】実施概要とアクセス数

U-media



【特集ページタイトル】

まちながが遊び場に変身！「あそびばせんたいinまちなか」は
9月20日（金）～22日（日）開催！もらってうれしい100円引き
クーポン情報あり♪

■URL

<https://machico.mu/special/detail/2755>

■掲載期間

2024年9月6日～2024年9月22日

■アクセス数

表示回数 3,852 / ユーザー数 2,376

■ページ内動画リンクアクセス数

SDGsWeek 2024 158
more TOHOKU マルシェ 122
遊びの環境の充実 147
Fun.Fan.Find青葉 47

■チラシからの流入（QRコードが読み込まれた数）

84回

■ページ内コメント回答数

36件 ※コメント詳細は、別途エクセルリストにてご覧ください。
お題：まちながにどんな「あそびば」があったらうれしいですか？

Copyright © U-media Co., Ltd. All Rights Reserved

特集ページへの誘導ツール

U-media

dメニュー・gooニュース（地域情報）



dmenu ニュース

goo ニュース

PV数 816

メールマガジン（9/12配信）



配信数 32,210通

CT 166 / CTR 0.51%

編集部SNS



Copyright © U-media Co., Ltd. All Rights Reserved

② 仙台つーしん

地域情報発信サイト「仙台つーしん」(<https://sendai-tushin.jp>)において、同HP、SNS (X,instagram) を活用した広報を実施した。



③ あそびばせんだい HP

仙台市遊び場展開事業にて制作した「あそびばせんだい HP」(<https://play-sendai.com>) において本業務のお知らせページを作成し広報を行った。

(3) のぼり

下記の2種ののぼり(600*1800mm)を各20枚製作し、イベント当日に各会場へ設置し、会場演出及び来場者・来街者への周知を行った。



(4) ノベルティ

アンケート回答のインセンティブ及び周辺イベントとの回遊性を促進させるため、来場者アンケートにご協力をいただいた方に対し、下記の対象イベント・出店で使用できるクーポン券(100円)を配布した。

<クーポン券の対象イベント・出店>

- ・西公園北側地区に設置するキッチンカー2店舗
- ・moreTOHOKU マルシェ (一部店舗除く)
- ・仙台オクトーバーフェスト (オリジナルグッズ)



4 来場者数のカウント方法

来場数は次の方法によりカウントを行った。

- ・各日各会場において、「11:00・12:00・13:00・14:00・15:00・16:00」の計6回、その時間にいる来場者を計測する。
- ・対象者はコンテンツの範囲内で遊んでいる（滞在している）こどもとその保護者とし、こどもは「幼児」、「小学生」、「中学生以上」の別とし目視により判断する。

なお、西公園北側地区のみ「中央広場周辺」、「プレーパーク」に計測範囲を区分し実施した。

第3章 実施結果

1 各会場の実施結果

(1) 西公園北側地区

① 計画レイアウト



<コンテンツ及びレイアウトの考え方>

- ・西公園プレーパークの会の活動との相乗効果を発揮させるため、プレーパークのエリアからの視認性や居心地良い緑陰空間といった環境を踏まえ、中央広場側へコンテナ（授乳室・おむつ交換室・更衣室）やキッチンカーなどのコンテンツを配置した。
- ・公園北側（SL 広場側）からの来場を主要動線と設定し、会場の導入部には気軽にこどもが楽しむことのできる遊具（mopps、木製平行棒）を配置。そこでの遊具遊びを経てプレーパークに至るようなレイアウトとし、プレーパークへの参加を促す仕掛けとした。
- ・コンテナ（3,600mm×1,800mm）は内部を2室に区切り、①授乳室兼更衣室、②おむつ交換室兼更衣室の構成とすることで利用者の重複に対応できる仕様とした。また、コンテナの外壁へはお絵かきをできるようにし、遊びの要素と視覚的

な演出が図られるよう企画した。

- ・キッチンカーでは遊びの合間でも気軽に飲食できるようなワンハンドフード且つ親子でシェアできるメニュー構成を想定し、おにぎり及びコーヒー等のドリンクを揃えた2店舗とした。
- ・キッチンカーの面前には可動式のイステーブルを配置。また、隣接し設置するサークルベンチでは、その内側で乳幼児が遊べるよう設え、こどもを見守りながら保護者がコーヒースタンドできるようなシーンを想定した。
- ・遊具は、こどもの自発的な遊びが展開されるようこどもが手を加えて遊ぶことのできる可動式遊具の mopps や木製平行棒を選定した。

② 実施結果

<来場者数>

日にち		9/20 (金)							9/21 (土)							9/22 (日)							総計
天気		☀	☀	☀	☁	☁	☀		☀	☀	☀	☀	☀	☀		☀	☀	☀	☁	☁	☁		
降水量(mm)		4.5	2.5	0.5	0.0	0.0	0.5		2.0	1.5	1.5	3.0	1.0	2.5		4.0	12.0	4.5	0.0	0.0	0.0		
気温(℃)		23.4	23.2	24.8	26.9	27.1	26.7		16.9	16.7	16.4	16.2	16	15.8		17.3	17.3	17.5	19.3	19.4	19.8		
時間帯		~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	
■ 中央広場 ■ PP会場	50																						
	25																						
		7	6	12	11	18	14	68	0	9	23	8	5	6	51	9	9	8	25	35	42	128	247
中止、一時見合わせ コンテンツ		✕ mopps							✕ mopps							✕ mopps							
		✕ テーブルセット							✕ テーブルセット							✕ テーブルセット							
		✕ 相談コーナー							✕ 相談コーナー							✕ 相談コーナー							

日にち		9/20 (金)							9/21 (土)							9/22 (日)							総計
天気		☀	☀	☀	☁	☁	☀		☀	☀	☀	☀	☀	☀		☀	☀	☀	☁	☁	☁		
降水量(mm)		4.5	2.5	0.5	0.0	0.0	0.5		2.0	1.5	1.5	3.0	1.0	2.5		4.0	12.0	4.5	0.0	0.0	0.0		
気温(℃)		23.4	23.2	24.8	26.9	27.1	26.7		16.9	16.7	16.4	16.2	16	15.8		17.3	17.3	17.5	19.3	19.4	19.8		
時間帯		~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	
西公園 中央広場	乳幼児	0	2	2	1	5	1	11	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0	1	4	3	8	23
	小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	4	0	2	0	1	3	3	9	13
	中学生～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	5	1	1	1	2	2	3	10	15
	保護者	0	1	2	3	3	1	10	0	0	3	0	1	0	4	0	0	0	2	7	6	15	29
	小計	0	3	4	4	8	2	21	0	0	12	2	2	1	17	1	3	1	6	16	15	42	80
西公園 PP会場	乳幼児	3	1	4	4	2	6	20	0	3	3	1	2	0	9	0	0	0	1	2	7	10	39
	小学生	1	0	0	0	3	0	4	0	3	3	3	0	3	12	3	2	4	10	6	8	33	49
	中学生～	0	1	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	2	7	11
	保護者	3	1	4	3	2	6	19	0	3	5	2	1	2	13	4	4	3	8	7	10	36	68
	小計	7	3	8	7	10	12	47	0	9	11	6	3	5	34	8	6	7	19	19	27	86	167
西公園 合計	乳幼児	3	3	6	5	7	7	31	0	3	7	1	2	0	13	0	0	0	2	6	10	18	62
	小学生	1	0	0	0	3	0	4	0	3	5	3	1	4	16	3	4	4	11	9	11	42	62
	中学生～	0	1	0	0	3	0	4	0	0	3	2	0	0	5	2	1	1	2	6	5	17	26
	保護者	3	2	6	6	5	7	29	0	3	8	2	2	2	17	4	4	3	10	14	16	51	97
	小計	7	6	12	11	18	14	68	0	9	23	8	5	6	51	9	9	8	25	35	42	128	247

<コンテナの利用>

- ・授乳利用 計1回
- ・着替え利用 計2回

<会場の様子>

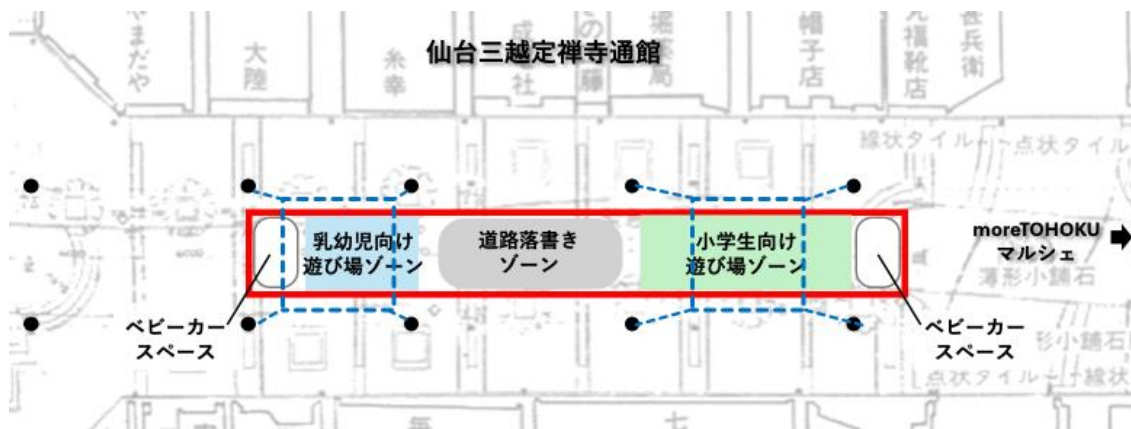
- ・開催期間を通じ雨天となり、来場者数が伸び悩むとともに、mopps を始めとするコンテンツの中止や一時実施見合わせが生じた。
- ・特に天気の影響から乳児の遊びに制約が生じ短時間の滞在が比較的多かったことから、コンテナの利用が少ない結果となった。
- ・一方で、プレーパークでは普段から利用する親子を中心に来場が見られ、西公園プレーパークの会が実施した染め物体験や焚き火のほか、雨水を利用した水の通り道づくりなど雨の中でも楽しめる遊びを自ら発見し、こども同士で楽しく交流する姿が見受けられた。
- ・また、初日及び最終日の 14 時以降には曇りとなり mopps を設置するやいなや、たまたま散歩で訪れた親子も含め多くのこども達が mopps で遊ぶ様子が見受けられた。





(2) 一番町四丁目商店街

① 計画レイアウト



<コンテンツ及びレイアウトの考え方>

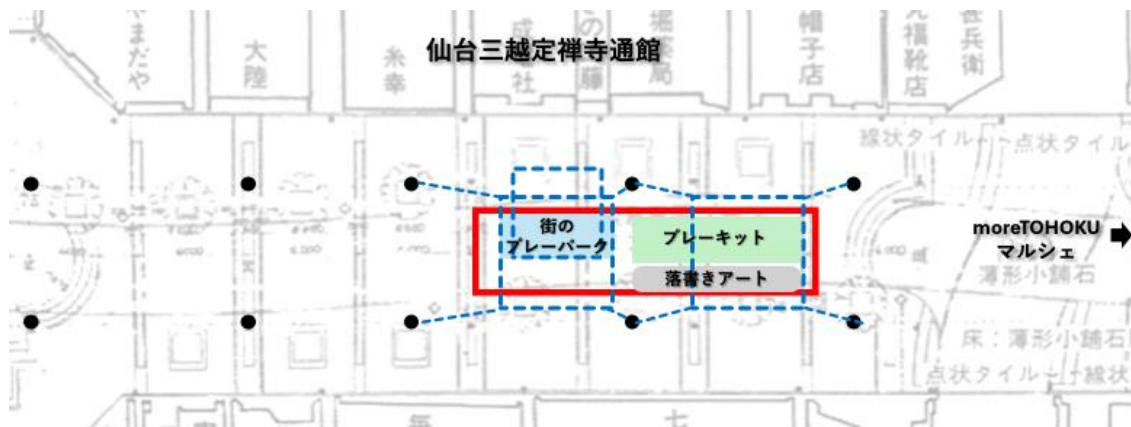
- ・快適に遊べる環境とするため、幼児向けの遊び（街のプレーパーク）と動きのある児童向けの遊び（プレーキット・遊具等）のゾーンを分けたレイアウトとした。
- ・また、どの年齢でも楽しめる「道路への落書きアート」を上述の2つのゾーンの間中に配置することで、緩衝空間とこどもの交流が展開されることを企図したレイアウトとした。

② 実施結果

<変更レイアウト>

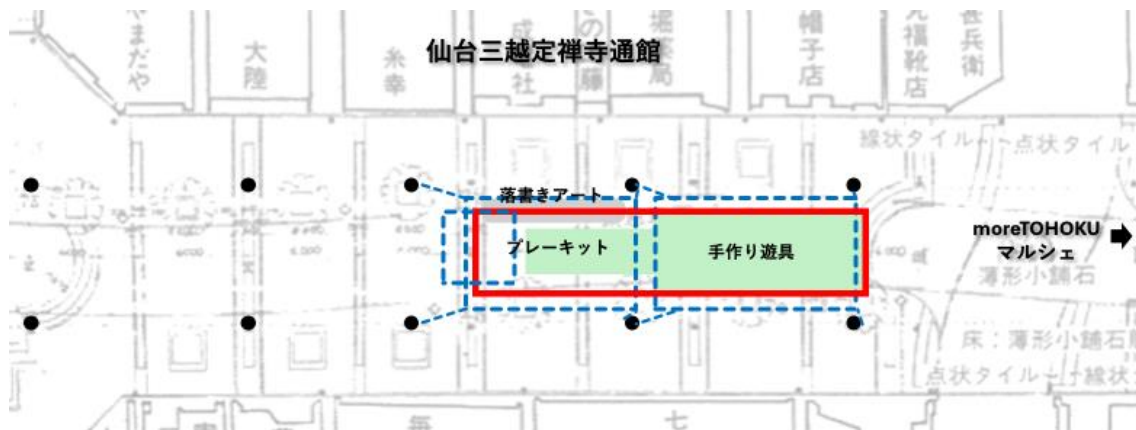
雨天により、タープの範囲内にコンテンツを集約するため下図のようなレイアウトへ変更し実施した。また、床座で遊ぶことを想定した乳幼児向けコンテンツ「街のプレーパーク」は初日のみ実施、以後2日間は中止とした。

(9/20) mopps の中止、落書きアート等の規模縮小





(9/21) 街のプレーパークの中止、落書きアートの規模縮小



(9/22) 街のプレーパークの中止、落書きアートの規模縮小



＜来場者数＞

日にち		9/20 (金)							9/21 (土)							9/22 (日)							総計
天気																							
降水量(mm)		4.5	2.5	0.5	0.0	0.0	0.5		2.0	1.5	1.5	3.0	1.0	2.5		4.0	12.0	4.5	0.0	0.0	0.0		
気温(℃)		23.4	23.2	24.8	26.9	27.1	26.7		16.9	16.7	16.4	16.2	16	15.8		17.3	17.3	17.5	19.3	19.4	19.8		
時間帯		~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	
70 35 0								24							133								327
中止コンテンツ		✕ mopps							✕ 街のプレーパーク							✕ 街のプレーパーク							

日にち		9/20 (金)							9/21 (土)							9/22 (日)							総計
天気																							
降水量(mm)		4.5	2.5	0.5	0.0	0.0	0.5		2.0	1.5	1.5	3.0	1.0	2.5		4.0	12.0	4.5	0.0	0.0	0.0		
気温(℃)		23.4	23.2	24.8	26.9	27.1	26.7		16.9	16.7	16.4	16.2	16	15.8		17.3	17.3	17.5	19.3	19.4	19.8		
時間帯		~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	
一番町四丁目	乳幼児	0	0	1	2	6	3	12	7	4	15	4	6	4	40	3	1	7	3	16	21	51	103
	子ども	0	0	0	0	0	1	1	4	1	8	6	3	3	25	1	2	3	2	16	10	34	60
	中学生～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
	保護者	0	0	1	1	5	4	11	13	7	22	11	8	6	67	4	3	6	5	32	34	84	162
	小計	0	0	2	3	11	8	24	24	12	45	22	17	13	133	8	6	16	10	64	66	170	327

＜会場の様子＞

- ・開催期間を通じ雨天となり、来場者数が伸び悩むとともに、街のプレーパークや mopps といったコンテンツの中止が生じた。
- ・商店街という特性から平日利用は少なかったものの、休日は市民広場や県民会館のイベント帰りの親子を中心に来場が見られ、特に雨が上がった日曜日の 14 時以降はたくさんの来場が得られたことから、一番町四丁目商店街の遊び場としてのポテンシャルを感じさせる結果となった。
- ・また、プレーリーダーの声がけや促しにより、買い物目的と見受けられる親子も雨水を使った遊びやお絵かき、木の実などのプレーキットに夢中になる姿が見られ、商店街にある遊び場という特別感が発揮された場面が見受けられた。

(3) 定禅寺通中央緑道

① 計画レイアウト



<コンテンツ及びレイアウトの考え方>

- ・中央緑道では歩行者用の幅員を常時確保しなければならないため、広場状となった箇所において遊び場を配置した。
- ・連携イベントが開催されない二日間（9/20、21）においては、保育園の散歩など日常利用の延長線上で利用することのできる遊び場として設え、気軽に遊ぶことのできる遊具（手作り遊具、mopps）をコンテンツとして採用した。
- ・連携イベントの開催日である9/22は、限られたスペースにおける遊び場とイベント来場者の通行の折衝を避けるため、自由度の高い遊びコンテンツではなく、木の端材等を活用した工作ワークショップとし、連携イベント内のこども向けコンテンツとなるような雰囲気醸成することを企図した。

② 実施結果

9/20は雨天対策としてケヤキにタープを張りつつ、予定通りのコンテンツを実施したものの、足元の水たまりやぬかるみの状況がひどく、以後の2日間は同会場での開催を中止した。



<来場者数>

日にち		9/20 (金)							9/21 (土)							9/22 (日)							総計
天気																							
降水量(mm)		4.5	2.5	0.5	0.0	0.0	0.5		2.0	1.5	1.5	3.0	1.0	2.5		4.0	12.0	4.5	0.0	0.0	0.0		2
気温(℃)		23.4	23.2	24.8	26.9	27.1	26.7		16.9	16.7	16.4	16.2	16	15.8		17.3	17.3	17.5	19.3	19.4	19.8		
時間帯		~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	
50 25 0									中止							中止							2
								2															
		0	0	0	0	0	2																

日にち		9/20 (金)							9/21 (土)							9/22 (日)							総計
天気																							
降水量(mm)		4.5	2.5	0.5	0.0	0.0	0.5		2.0	1.5	1.5	3.0	1.0	2.5		4.0	12.0	4.5	0.0	0.0	0.0		2
気温(℃)		23.4	23.2	24.8	26.9	27.1	26.7		16.9	16.7	16.4	16.2	16	15.8		17.3	17.3	17.5	19.3	19.4	19.8		
時間帯		~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	~11:00	~12:00	~13:00	~14:00	~15:00	~16:00	合計	
定禅寺通	乳幼児	0	0	0	0	0	1	1	中止							中止							1
	子ども	0	0	0	0	0	0	0															0
	中学生～	0	0	0	0	0	0	0															0
	保護者	0	0	0	0	0	1	1															1
	小計	0	0	0	0	0	2	2															2

<会場の様子>

- ・中央緑道は土舗装のため雨天時の水たまりやぬかるみがひどく、普段以上に通行者が少なく、9/20 の開催時間中はほぼ来場が見られなかった。
- ・特に地面レベルを中心とした遊びの実施は難しく、遊び場として制約の多さが明らかとなった。

<会場の評価>

- ・定禅寺通は四季を通じ大規模なイベント・まつりが開催され、また中心部商店街と西公園の間にも位置することから、イベント時を中心に高い集客性・回遊性の核としてのポテンシャルを有しており、イベントと連携した遊び環境の場としての活用も期待される。
- ・一方、定禅寺通中央緑道は幅員が狭く、イベントと共存した安全・快適な遊び場を設けることはレイアウト上において大きな制約がある。また、土舗装のため今回のような雨天時には大きな水たまりが発生するなど、物理的な環境面における課題が確認された。
- ・今後実施される定禅寺通再整備では、中央緑道の一部拡幅や木系舗装化が計画されており、イベントや遊び場としての環境改善が期待される。

(4) ノベルティによるイベント回遊

雨天の影響もあり想定よりも回遊が生じず、一番町四丁目商店街のクーポンが西公園で使用された2例を除き、ノベルティを配布した会場での使用がほとんどであった。

		9月20日	9月21日	9月22日	計	備考
		クーポン 利用	クーポン 利用	クーポン 利用	クーポン 利用	クーポン種別
西公園 北側地区	キッチンカー① (アニーロースターコーヒー)	2	1	10	13	西公園配布：13
	キッチンカー② (ばあばのおにぎり屋)	0	3	7	10	西公園配布：8 一番町配布：2
	西公園PPの会 (WS参加料)	0	2	8	10	西公園配布：10
連携 イベント	moreTOHOKUマルシェ	0	2	0	2	一番町配布：2
	オクトーバーフェスト	0	0	0	0	

2 アンケート結果

(1) 各会場の結果概要 ※詳細は参考資料を参照

① 西公園北側地区

(来場者数 247／回答数 53)

□来場者の属性等

・ 来場者のお住まい【設問 3】

「ご近所」(22,41%)、「青葉区」(20,38%)を合わせ約8割であり、近隣を中心とした来場であった。

一方、電車を乗り継ぎ参加された親子もあり、高い目的性を有していることが伺える。

・ 移動手段【設問 5】

回答の多い順に「徒歩」(24)、「自動車」(14)、「自転車」(12)であり近隣からの来場が多かったことが反映された。一方、「地下鉄」(6)、「電車」(4)、「バス」(3)といった公共交通の利用が少ない結果となった。

平均すると回答者あたり約1.2(総選択数63/回答者数53)の移動手段であり、比較的単一の移動手段での来園が多い。

・ 来場したこどもの年齢【設問 7】

「幼児後期(4-6歳)」(21,42%)が最も多く、「幼児前期(2-3歳)」(9,18%)、「乳児(0-1歳)」(8,16%)と合わせ、未就学児の参加が8割弱であった。

□来訪目的、来園頻度

・ 中心部を訪れた目的【設問 6】

「当イベント」(40)が最も多い結果となった。

・ 来園頻度【設問 4】

「週2～3回以上」(12,23%)、「1～2週間に1回程度」(13,24%)を合わせ約5割であり、定期的な公園の利用が伺える一方、「ほとんど来ない」(10,19%)も約2割ほどおり一定程度今回のイベントをきっかけに来園された方が見受けられた。

□会場の評価等

・ イベントの滞在時間【設問 8】

「3時間以上」(18,38%)が最も多く、1時間以上の滞在が全体の8割弱であった。

・ 会場の感想【設問 9】

「非常に満足」「やや満足」の合計値が高かった上位3つは「遊び場の環境」(48,91%)、「プレーパーク」(47,89%)、「居心地の良さ」(47,89%)であった。その他、中止となった「子育て相談スペース」を除く全ての項目においても過半を超える高い満足度が得られた。

・ あったら良いと思う機能や施設【設問 10】

回答の多い順に、「屋根のあるスペース」(37)、「プレーパークの充実」(26)、「充実

した遊具」(25)、「飲食施設」(23)、「おむつ交換室」(22)、「ベンチなどの休憩スペース」(20)であり、ハード面を期待する回答が多い結果となった。

【主な自由意見】

□感想

- ・街中で自然の中で遊べる貴重な場所
- ・雨でも外遊びを楽しめた
- ・大人も子どもも体験ワークショップを楽しめた
- ・他者との交流や興味関心を養うことのできる大切な場所
- ・安心できるこどもの居場所、親同士の交流の場所となっている
- ・見守ってくれる大人がいることの安心感

□要望

- ・昨年よりプレーパークの開催日数が減っており、活動への市の支援が必要
- ・遊具をもっと作って欲しい
- ・歩道橋にエレベーターがあったら良い
- ・季節、天気によらず遊ぶことのできる屋内遊び場をつくってほしい

② 一番町四丁目商店街

(来場者数 327／回答数 111)

□来場者の属性等

・来場者のお住まい【設問3】

「ご近所」(33,30%)、「青葉区」(23,21%)を合わせ約5割、その他各区が1割弱、「市外」(20,18%)が約2割と広範囲からの来場が見られた。

・移動手段【設問5】

回答の多い順に「自動車」(45)、「徒歩」(41)、「地下鉄」(16)、「バス」(13)となった。

平均すると回答者あたり約1.2(総選択数131/回答者数111)の移動手段であり、比較的単一の移動手段での来園が多い。

・来場したこどもの年齢【設問7】

「幼児後期(4-6歳)」(55,35%)が最も多く、「幼児前期(2-3歳)」(40,26%)、「乳児(0-1歳)」(25,16%)と合わせ、未就学児の参加が8割弱であった。

□来訪目的、来園頻度

・中心部を訪れた目的【設問6】

回答の多い順に、「買い物」(49)、「他イベント」(29)、「当イベント」(18)、「食事」(17)であり、来訪目的の多様さが特徴の一つといえる。

・来訪頻度【設問4】

定期的に来訪する方(「週2～3回以上」(11,10%)、「1～2週間に1回程度」

(21,19%))は3割弱、「ほとんど来ない」(30,27%)、「全く来ない」(15,13%)が約4割と、来訪頻度が高くない子育て世帯の方が多く結果となった。

□会場の評価等

・ イベントの滞在時間【設問8】

「0.5 時間未満」(46,52%)が最も多く、「0.5~1 時間未満」(26,29%)と合わせた1時間未満の滞在が全体の約8割となった。

・ 会場の感想【設問9】

「非常に満足」「やや満足」の合計値の上位3つとして「遊び場の環境」(83,75%)、「アクセスしやすさ」(82,74%)、「遊びの内容」(81,73%)であった。その他、全ての項目においても過半を超える高い満足度が得られた。

・ あったら良いと思うもの【設問10】

回答の多い順に、「子育てフレンドリーな店舗・サービス」(41)、「こどもの遊び場」(39)、「自由に利用できるキッズスペース」(36)、「気軽に飲食できるスペース」(31)、「こども向けのイベント」(27)などであった。

【主な自由意見】

☑感想

- ・ 土日しか来られないが月1回程度開催してほしい
- ・ こどもが楽しそうに絵を描いていて、このようなスペースも良いなと思った
- ・ アーケードでイベントがあると活気を感じる
- ・ 買い物だけでは飽きてしまうためこのような遊び場があると本当に助かる

☑要望

- ・ まちなかには遊び場があまりないため遊び場があると良い
- ・ こどもとゆっくり食事がとれるお店が欲しい
- ・ ベビーカーで入れるトイレ、おむつ替えができる場所がほしい（デパートしかない）
- ・ 天候に左右されない屋内遊び場が欲しい

③ 定禅寺通中央緑道

雨天により9/21,22は中止とし9/20のみの開催となったことから、十分なアンケート調査を実施することができず、結果概要は省略する。

(2) 小括

各会場でのアンケート結果を踏まえ、各会場の遊び場としての評価や子育て世帯のニーズは次のとおり整理することができる。

① 西公園北側地区

□来場者の特徴

- ・比較的回りの多い近隣在住者が中心
- ・青葉区外からの参加者もあり、目的性の高さが伺える

□遊び場として高く評価された点

- ・アクセスしやすい都心部の貴重な自然環境
- ・大人のプレーリーダーが見守る中、自然資源を活用した遊びを体験できる場
- ・親子で楽しむことのできる工夫されたプレーパーク活動
- ・長時間楽しく遊ぶことのできる遊び場環境やコンテンツの豊富さ
- ・こどもの居場所、親同士の交流の場所としての役割

□子育て世帯のニーズ

- ・屋根のある空間、飲食施設、おむつ交換室、休憩スペースなどの共用施設
- ・プレーパークの開催日数の拡大

以上からは、現在の自然環境や多様なプレーパーク活動に対する高い評価とともに、遊びの体験や交流機会としてのみならず、“こどもの居場所”としての役割が参加者から評価されていることが伺える。

また、今回のイベントで設置したコンテナ（授乳室/おむつ交換室/更衣室）の利用は少なかったものの、アンケート結果からはそれらの機能や屋根のある空間などの共用施設を求める意見が聞かれ、親子がより安心・快適に外遊びを満喫することができる環境の充実への高いニーズが伺える。その実現によりプレーパークへの参加の敷居を下げ、より一層の普及につながることが期待される。

② 一番町四丁目商店街

□来場者の特徴

- ・青葉区内とその他各区及び市外が半数ずつであり、比較的広範囲からの来街が見られる
- ・買い物やイベントを目的とする来街者が多いことが特徴

□遊び場として高く評価された点

- ・こども向けの居場所が少ない商店街にあって、貴重なこどものためのスペース
- ・買い物やイベントなどの主目的の合間に参加できる気軽な遊び場
- ・落書きやプレーキットなど（汚れなどを気にせず）簡単に体験することのできる

遊びコンテンツ

□子育て世帯のニーズ

- ・親子でゆっくりと商店街を楽しむことのできる「子育てフレンドリーな店舗・サービス」、「自由に利用できるキッズスペース」、「気軽に飲食できるスペース」などの親も子どもも居心地の良い空間
- ・ベビーカーで入れるトイレ、おむつ替えができる場所

以上からは、来街目的の合間に子どもが楽しむことのできる遊び場への高い評価が伺え、特に集客イベントと連携した遊び場を創出することで滞在時間の拡大や来街の満足度の向上といった相乗効果が期待されるものと推察される。

一方で、商店街における子育て世帯のニーズとしては、親子で居心地良く過ごすことのできる店舗や空間が求められており、今回のようにイベントに付加した遊び場の設置といった活動を継続することで、子育て世帯の来街の頻度や滞在時間を高め、ひいては親子で休憩や買い物を快適に楽しむことのできる店舗環境の充実へと相乗効果を発揮させていくことが期待される。

③ 共通

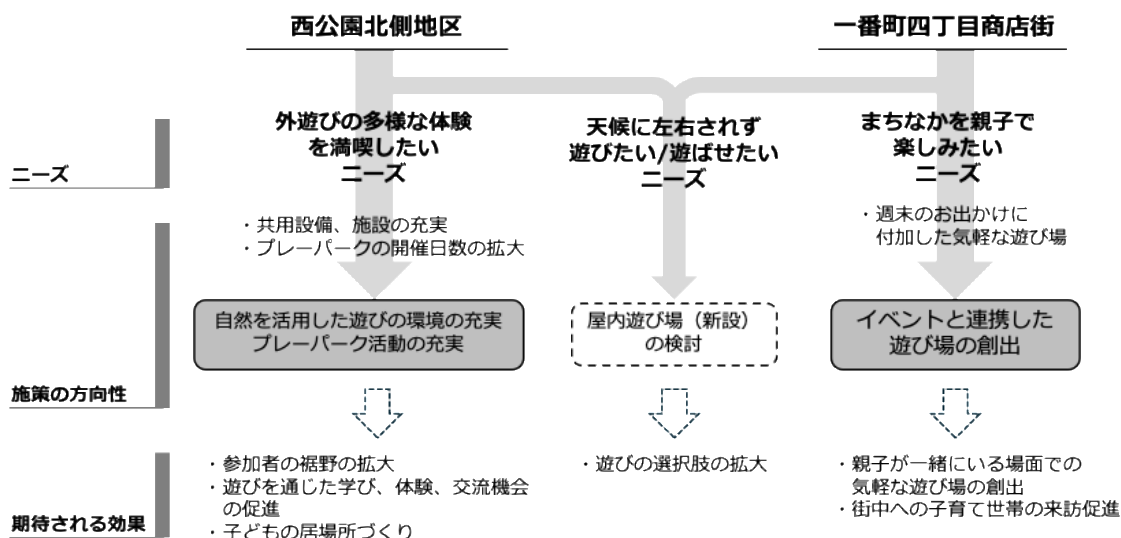
□子育て世帯のニーズ

- ・天候に左右されない屋内遊び場

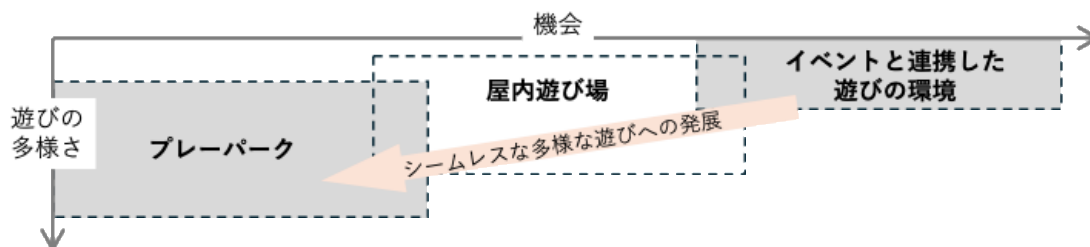
西公園北側地区、一番町四丁目商店街ともに「屋内遊び場」を求める意見が聞かれ、近隣の自治体で整備が進む大型の屋内遊び場のような全天候型の遊び場へのニーズが伺える。現在、市内には無料で遊べる大型の屋内遊び場はなく、整備が行われた場合は子育て世帯にとって遊びの選択肢の増加、遊びに触れる機会の拡大につながるものと期待される。

＜アンケート結果の整理＞

西公園北側地区及び一番町四丁目商店街でのアンケートを踏まえ、ニーズと施策の方向性は次のとおり整理することができる。



また、イベントと連携した気軽な遊び場、全天候型の屋内遊び場の整備という「遊びの選択肢」を増やすことで、こどもの年齢、志向や発達状況、家庭の生活・行動パターンに応じた遊びへの接点機会を創出することが容易になるものと推察され、こどものみならず保護者にとっても遊びをより身近なものとする効果が期待される。さらには、それらの遊びのから外遊びによる多様な体験や他者との交流機会がより豊富なプレーパークへの参加といった発展につながることも期待され、重層的な遊び場の環境が醸成されるものと考えられる。



3 ヒアリング結果

ここでは前述で整理した施策の方向性を踏まえ、関係者へのヒアリングを通じ課題等を確認するとともに実現に向けた支援策等を検討する。なお、施策の方向性とヒアリング先の対応関係は次のとおり。

A) 西公園北側地区

(施策の方向性)

- ・ 自然を活用した遊びの環境の充実
- ・ プレーパーク活動の充実

【ヒアリング先】

プレーパーク活動団体 / a) 西公園プレーパークの会

B) 一番町四丁目商店街

(施策の方向性)

- ・ イベントと連携した遊び場の環境の創出

【ヒアリング先】

子育て支援団体 / b-1) NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク
イベント主催者 / b-2) 株式会社ユーメディア
b-3) Sendai Development Commission 株式会社 (参考: 定禅寺通)
商店街組織 / b-4) 一番町四丁目商店街振興組合
b-5) 一般社団法人まちくる仙台

(1) 西公園北側地区に係るヒアリング結果概要

a) 西公園プレーパークの会

□ イベントの評価

○ 遊びや体験コンテンツについて

- ・ こどもとどうやって一緒に外遊びすれば良いのか分からないという保護者が多く、プレーパークでの遊びや体験コンテンツが参考になったという意見もあった。家でも身の回りのものを使って同じ遊びをできるという感想をいただくこともあり、自分たちとしても嬉しく思っている
- ・ 遊びコンテンツはプレーパークまでの導入として良かった。

□ 活動上の課題

○ 人材と資金の課題、開催日数の減少

- ・ 西公園プレーパークの会は全員がボランティア
- ・ 仙台市はプレーリーダー養成講座を実施しているものの、資金が無く、受講修了者を雇うことができない
- ・ 今年は人材不足のため開催日数を減らすこととなった
- ・ 利用することもたちにとっては、プレーリーダーが変わると遊び場に対する心理的な安心感が薄れてしまう。また、地域の方に説明する窓口も信頼関係が重要であり、できるだけ継続して同一人物が担うことが理想

□ 期待する支援策

○ プレーリーダーの育成と継続して活動することができる仕組みづくり

- ・ こどものやりたいことを実現させられる場所とそれを寄り添ってサポートする大人が必要。その役割は学生ボランティアでは担うのが難しく、専門的に訓練を積んだスタッフが必要であり、学生たちが活動を通して訓練を積み、見守る立場に変わっていくサイクルができると良い

○ 人件費に活用できる補助制度の拡充

- ・ 西公園プレーパークの会としては、これまで培ってきたノウハウの発信や他団体との連携を行う必要があると感じるものの、人が足りず着手できていない
- ・ 「年間 100 日以上で開催」を掲げる中で、完全ボランティアで継続することは難しく、有償ボランティアを雇うための補助制度があると良い

○ こどもとの双方向の情報交換の仕組み

- ・ 最近はコミュニケーションが発生するのが嫌で遊び場に行かないという保護者も多いため遊び場に関する情報を得ることができないという負のスパイラルが起きている。そういう人たちへの情報発信のあり方について考える必要がある
- ・ 親からの意見の吸い上げだけでなく、こどもに直接届く情報発信、情報の吸い上げができると良い

○ 西公園北側地区における共用施設の充実

(食事施設)

- ・キッチンカーや飲食機能（カフェなど）は常設であるといい。普段のプレーパークでは午前午後で利用者が入れ替わることが多いが、今回は昼またぎでいる人が多かった。キッチンカーでおにぎり屋が来てくれていたことが大きい。単体で飲食機能があるというより、授乳室・おむつ交換室・着替え室やその他の機能も入っており、多少汚れていても気兼ねなく使えるといい。

(授乳室・おむつ交換室・着替え室)

- ・イベントでは授乳室・おむつ交換室・着替え室が設置されたことで、初めて訪れる来場者の安心感につながった
- ・普段、利用者の様子を見てみると、今の保護者はこどものおむつ替えを頻繁に行わないように見受けられるが、こどものことを考えると、おむつ交換室はあった方がよい。もし設置場所を選べるのであればプレーパークの会場中がよい。おむつ交換室を利用する保護者はこどもを複数連れていることも多く、少しの距離の移動が大変なので、なるべく活動場所と近くにあるといい

(ベンチ、屋根空間など)

- ・西公園内のベンチは稼働率が高いので、もっとあるといい。また、今回設置したような、出し入れができるテーブルセットなどもあるといい
- ・屋根空間として、あづまやのような設えだと1家族しか使えないため、榴岡公園の大屋根のような3家族は共存できるようなサイズのものがあるとよい。また、屋根の下には乳児をハイハイさせたり、幼児の子を遊ばせられるようなウッドデッキがあるとよい

(水道、電気設備)

- ・プレーパークの近くに水道があるとよい。今は中央広場からポリタンクで運んでいるが、こどもたちの水遊びですぐなくなってしまい負担が大きい
- ・電気があればできることの幅が広がる。また、西公園は放課後の中学生の遊び場となっており、利用するこどもたちの年齢を考えると、電気があるとよいかもしれない

(2) 一番町四丁目商店街に係るヒアリング結果概要

b-1) NP0 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク

□イベントの評価

○偶発的な遊び場が来街の楽しさを演出

- ・来場者は雨でも遊べるということに驚くとともに、新たな発見につながったのではないかと。思いがけないところで遊べたという体験は概ね好意的に受け取られていたように思う
- ・夫婦で来ていて、父親がこどもの遊びを見守り、母親が三越に買い物に行くようなシーンも見られた
- ・宝飾店から出てきた親子や発表会帰りのこどもなども遊びに立ち寄るなど、一番町四丁目商店街の立地ならではの偶発的に訪れた来訪者も多かったように感じた
- ・来場者数は雨が降らなければ相当数が見込めたのではないかと。逆に、こどもの数が少なかったがゆえに、こどもたちは心ゆくまで楽しめたので満足度は高かったと思われる
- ・糸幸毛糸店の方からはこういった取り組みがあると良いという声があった

○非日常的な遊びコンテンツの組み合わせの妙

- ・遊びコンテンツの組み合わせとしてはとても良かった。自然の遊びや水遊び、道路の落書きなど普段できないことができたというのが、こどもたちが楽しめたのではないかと
- ・遊び場の場所には屋根があると良いと感じた。乳幼児は屋根がないと雨天時にほとんど遊ぶことができない。買い物のついでに寄ったという親子が多かったことで、汚れることにかなり気を遣ったのではないかと

○連携のあり方には改善の余地あり

- ・商店街イベントの連携効果はあまり見込めなかったが、市民広場とのイベントからの送客効果は感じた。もしイベントの飲食コーナー等があってそこに遊び場があるなど、場所が近接していたら違ったと思う
- ・MoreTOHOKU マルシェは別のイベントが近隣で実施されているという雰囲気でも、あまり連携できなかった。同時開催に留まった印象を受ける。もし企画内容を共有するなど積極的に連携できるような雰囲気があれば、こちらからマルシェの売っているものを宣伝するなど、相互に楽しめる雰囲気になったと思う。今後、イベント主催者がイベント時にこどもの遊び場コーナーを設置する流れにつながると良いと感じた

□遊び場のイベントとの連携について

○連携の可能性あり

- ・イベントと連携した遊び場の可能性はある。物理的に距離が近いこと、内容に関連があるイベントと連携することで良い取り組みにつながると思う

□活動上の課題

○活動場所の確保

- ・ 錦町公園などまちなかの公園でプレーパークをやろうとしても、イベント利用で埋まってしまっていることが多い
- ・ 道路を使うにあたり、商店街の許可を得て、仙台市に申請書を出して、そこから警察に行くという手続きを毎回踏む必要があり負担が大きい

□環境上の課題

○子育て世帯向け店舗等の減少

- ・ 昨年、子育て世代目線の仙台まちなかのマップを作成した。その際の調査で、「アーケード商店街内のドラッグストアでは紙オムツや粉ミルクが販売されていない」、「エレベーターで上がれるお店がほとんどない」こと等が分かった。まちとしてこどもや子育て世代を受け入れる体制ができていない。10年以上前に同様のマップを作成した際には、こども連れで行きやすい店舗は複数あったが、コロナの影響や高齢化等の影響を受けて、ここ数年で減ってしまったと感じる
- ・ 最近では地域の方に見守られて子育てをするという感覚がなくなっているが、商店街など身近な場所に遊び場があると、何気ない会話が生まれやすく良いのではないか

○遊ばせ方を知らない親の増加

- ・ 親の支援を主なテーマとしてきたが、最近の親はこどもの遊ばせ方がわからないという人が多い。親に遊び方を教えるという意味でこどもの遊び場をやっている。こどもの遊びの環境が乏しくなっていることについて考えるべき
- ・ どんな天候でも遊べるということを知ってもらうことも大事だと思う。本来こどもは何もないところでも遊ぶことができるが、親は何かを与えないと遊べないという意識が強くなっているように思う

□期待する支援策

○許可手続きのワンストップ窓口

- ・ 街のプレーパークを始める際に、仙台市の職員が間に入ったことで、商店街関係者との調整がうまくいった。地域の方と事業を進めるシチュエーションが起きた場合に、調整してもらえるようなワンストップ窓口があると良い

b-2) 株式会社ユーメディア

□子育て世帯に対する捉え方

○子育て世帯は明確なターゲット

- ・例えば仙台オクトーバーフェストでは、子育て世帯を明確にターゲットに捉えている。コアなターゲットである「ビール好きの層」の来場はアッパーに達しており、新規開拓として「ビール好きだけど来場できない層」の一つとして子育て世帯をターゲットに設定し、会場へキッズスペースを設けた。オクトーバーフェストは収益事業であるが、このイベントを通して“地元の魅力の磨き上げ”を目指しており、「仙台っていいな」と思ってもらえるよう、子育て世帯など比較的若い世代にも来てもらえるよう取り組んでいる

○子育て世帯の来場効果あり

- ・オクトーバーフェストではキッズスペース協でWSも開催したが、子育て世帯の来場者からはキッズスペースやWSがあるから子連れで来たという声も聞かれた。オクトーバーフェストはアルコールイベントのためこどもは暇になってしまうが、こども向けコンテンツを用意することによる来場効果を感じられた
- ・なお、オクトーバーフェストの来場者のアンケートでは、「今後充実してほしい内容」という設問に対し、「キッズスペースなどファミリーが来やすくなる工夫」に13%の回答があり、潜在的なニーズを実感している

□遊び場のイベントとの連携について

○連携の可能性あり

- ・連携の可能性は大いにある。ファミサポのような子育ての専門性を有する団体と連携することで、親が目を見離しても安心して楽しめる状況を作れるならばイベント側としても助かる。
- ・また、ファミサポなどが自身のネットワークを通じて子育て世帯向けへ広報をしてもらえるならばイベント側としてもメリットが大きい。イベントイメージも良くなる効果も期待できる。水族館や動物園などに飽きた家族向けの新機軸として、“大人もこどもも楽しめるイベント”は可能性があるのではないか
- ・例えば一番町四丁目商店街で開催している「Bang BAR SENDAI」では、こどもの遊び場を定期的なコンテンツの一つとすることはあり得る。定期開催とすることで“ファミリーに優しいイベント”というイメージづけもでき、利用者からの印象も変わってくる

□遊び場と連携する上での課題

○遊び場スペースの確保とレイアウトへの制約

- ・こども向けコンテンツを用意するには安全性の高いレイアウトの確保が必要となり、収益イベントのメインエリアとの両立に課題がある。特に商店街の場合はスペース確保に物理的な制約（広さや視認性の確保など）が多い

○授乳室等の確保

- ・内部が透けないような専用の授乳室を用意しようとするコストが嵩んでしまうことから設置が難しく、現在は救護所に案内している。また公園の多目的トイレも壊れていて使えない場合が多い

○遊びの専門団体とのつながり

- ・こども向けのコンテンツを実施できる専門性のある方が限られ、またそのネットワークもない

□遊び場と連携する上で期待する支援策

○子育て支援団体との仲介の仕組み

- ・ファミサポのような子育て支援団体などについて存じ上げないので、連携を促進するような情報入手や仲介の仕組みがあれば良い

○広報支援

- ・子育て世帯向けのイベントやコンテンツに対する広報支援があると良い

○遊び場に対する補助制度

- ・イベント主催者、連携する子育て支援団体、市がコストなどをバランスよく負いあえる補助制度などの仕組みがあると良い

○公園などでの集客イベントに対する子育て世帯への配慮の義務化

- ・公園などで開催する一定の集客イベントに対し、(遊び場に限らず) 子育て世帯への配慮やコンテンツを義務化することも考えられる。それが根付くまでのコストなどの支援をしてもらえるとありがたい

b-3) Sendai Development Commission 株式会社

□子育て世帯に対する捉え方

○子育て世帯をメインターゲットとしていない

- ・定禅寺通で開催している仙台コーヒーフエスは若者層が主な来場者であり、子育て世帯をメインターゲットとはしていない

(なお、こども・子育て世帯を対象としたイベントとして、2016~2021 年まで計15回ほど「DAYOUT!」と銘打って開催していたが現在は実施していない)

□遊び場のイベントとの連携について

○定禅寺通では物理的な制約があり難しい

- ・仙台コーヒーフエスの会場である定禅寺通ではスペースに余裕がなく遊び場を設けることは難しい。あるとすれば一番西端の緑道ブロックが考えられるが、イベント会場とブロックが離れるためイベントとの一体感が弱く、視認性も悪いことから現実的ではない

□遊び場と連携する上での課題

○遊び場スペースの確保とレイアウトへの制約

- ・定禅寺通は遊び場として十分なスペースがない。通路幅が狭く通行者との交錯の不安や、親も安心できる視認性を確保するレイアウトづくりが難しい

○収益性の確保

- ・子育て支援団体との連携を考えた場合、民間同士での取り組みとなるからこそ収益を出せるかが重要。良い取り組みだからこそ赤字にせず、黒字を積み重ねられないと継続はできない

b-4) 一番町四丁目商店街振興組合

□子育て世帯に対する捉え方

○子育て世帯向けの場所が望まれるが、現状は少ない

- ・まちなかにはこどもを預かれる場所が少ない。一番町四丁目商店街に新築の建物ができたら、そこに保育施設等が入ってほしいと思っているが、リーシングは難しい。9月の社会実験を見て、まちなかでこどもがリラックスして遊べる空間・時間があるのは良いと感じた

□遊び場のイベントとの連携について

○連携の可能性あり

- ・「Bang BAR SENDAI」との連携は考えられる。そのほか、物産市等とも連携も考えられるのでは。実施に当たってはハードルがありそうだが、親子向けの芋掘り体験や袋詰め体験などができたら面白い

○こども向けのイベント団体に対して協力可能

- ・こども向けのイベントをやりたい団体との連携にあたっては、商店街は場所・資金・物を提供するという役割分担が良いと思う。営利を目的としない内容で経費があまりかからないイベントであれば、商店街からテント等の物品の貸し出しは比較的すぐにできると思う

○商店街を公園のように使ってもらいたい

- ・商店街で花火、人工芝を敷く、砂場を作る、サッカーができるようにするなどできたら面白い。商店街を公園的に使ってもらえると良い

○滞在時間を増やし、消費につなげたい

- ・商店街に長く滞在してもらえれば、必然的に消費につながるので、自由にやってもらいたい。平日・休日によらず、空いていれば使ってもらって良い。
- ・たまたま通りがかった親子連れが立ち止まって遊んでくれるような仕掛けやゆっくりできるような雰囲気づくりができると良い

□遊び場と連携する上での課題

○こどものニーズ把握

- ・商店街として、こどもたちに何を望まれているのかがわからない。また、今の時代はこどもの接し方が難しいと感じるので、こども向けのイベントをやりたい団体に関わってもらいたい

○広報力

- ・広報に課題があり、力のあるイベントとの連携ができると良い

□遊び場と連携する上で期待する支援策

○こども向けイベント主催者との仲介の仕組み

- ・こども向けのイベントを実施したい団体等との接点を持てる機会があると良い

○こどものニーズなどの情報入手

- ・ こどもたちに何をやってみたいか、直接聞ける機会があると良い
- ・ 中学生が放課後遊んでいると指導されるという話も聞く。こどもたちの活動がどこまで許されているのか分からないので、商店街としてウェルカムと言いにくい。中高生の視点で商店街にあったら良いものとして、放課後の居場所などがあるのであれば、声をあげてもらい、可能な限り対応したいと思う

○遊具の貸出や遊び場に対する補助制度

- ・ 遊具などの貸し出し等の支援や、こども向けイベントを実施する際に 10～20 万円程度の補助金があると良い

b-5) 一般社団法人まちくる仙台

□子育て世帯に対する捉え方

○現状は子育て世帯向けの場所は少なく、こどものための場所も棲み分けが必要

- ・ 中心部商店街の将来のコンセプトとして、街中全体でこどもが居やすい場所にする
と掲げられていれば良いが、そのような共通認識や旗印がない
- ・ 中心部商店街ではファミリー層向けのお店も少なく、選ばれない、来なくなる、店
もなくなるといった悪循環に陥っているように感じる。また、子連れの観光客がま
ちなかで滞在できる場所も少ない
- ・ 大町周辺はハイブランドのエリアであり、ここではこどもの遊び場は喜ばれない
だろう。一番町四丁目やサンモールであれば商店街側も喜ぶのではないか。駅前
から大町にかけてはこどもにやさしい場所が必要かどうかもある必要がある

□遊び場のイベントとの連携について

○連携の可能性あり

- ・ 連携の可能性は十分あり得る。現在、当方が主催するイベントはないが、中心部商
店街を会場に開催する青葉区民まつりなどと組み合わせても良いかもしれない。
青葉区民まつりは多世代が対象であり親和性も高い

□遊び場と連携する上での課題

○広報

- ・ ターゲットへうまく伝わっていない印象があり広報に課題がある

○予算の確保、収支の組み立て

- ・ 遊び場イベントは非収益となる場合が多く、補助を活用できたとしても収支の組
み立てが難しくなる

□遊び場と連携する上で期待する支援策

○広報支援

- ・ 適した広報手段や方法などがまとめられたガイドラインなどがあればありがたい
- ・ 普段の広報手段はチラシや SNS であるが、可能ならば近隣小学校でも配れるとあ
りがたい
- ・ また、例えば子育て層が会員登録している媒体から広報できれば良い

○遊び場に対する補助制度

- ・ こどもの遊び場を作りたくても誰がお金を出すのかという課題は大きい。遊び場
に対する補助制度があると良い

(3) 小括

A) 西公園北側地区

年間を通じてプレーパークを開催している西公園プレーパークの会は、スタッフが無償で活動しており、プレーパークへの強い想いに下支えされた活動を実施している一方で、プレーリーダーの育成と継続、また長年の活動で得られたノウハウの水平展開といった活動の持続性と発展に対し課題を抱えている。外遊びの方法を知らない親世代の増加という流れの中で、プレーパーク活動の意義は増しており、人材や資金面でのプレーパークの開催支援が期待されていることが伺えた。

また、遊び場に関する情報が届きにくい子育て世帯の存在が課題認識されており、情報発信の必要性が指摘された。関連して、食事施設、ベンチ、屋根空間などの共用施設の充実も望まれており、これら施設の充実是一般の公園利用者の便益にもつながり、子育て世帯の日常的な公園利用やプレーパークに触れる機会の促進への寄与が期待される。

B) 一番町四丁目商店街

各分野の団体からは、「遊び場とイベントとの連携」について総じて肯定的に捉えられ、また買い物やイベント参加の合間に体験できる気軽な遊び場への高い評価が伺えた。一方、実現に向けた課題も挙げられ、各分野の団体の主な課題を整理すると次のとおりとなる。(凡例 / ○：環境面での課題、・：活動面での課題)

子育て支援団体：○中心部における子育てフレンドリーの希薄化

・公園や道路の使用に係る手続きの負担

イベント主催者：・遊びの専門団体とのつながりが少ない

・安全な遊び場を設けることのレイアウト上の制約

・授乳室などの設置に係るコスト増

商店街組織：○子育て世帯向けの店舗、コンテンツの減少による来訪減の悪循環

・こども向けのイベント主催者とのつながりが少ない

活動面の課題については、団体間を仲介する仕組みを構築することで、それぞれが有する得意分野やリソースが発揮され課題解決する可能性が考えられる。また、この取り組みによって中長期的には子育て世帯の中心部への来訪や滞在時間が増え、子育て世帯向けの店舗やサービス、コンテンツなどの増加といった好循環の形成も期待される。

遊び場とイベントとの連携をより促進するための支援策としては、子育て世帯への広報支援、イベントに付加する遊び場等への金銭的な補助が共通して挙げられ、仲介支援の仕組みづくりと合わせて実施されることで、こどもと保護者が気軽に楽しめる街中の遊びの環境の創出につながるものと考えられる。

第4章 考察

本業務では、西公園北側地区において「自然を生かした遊びやプレーパーク活動の充実」、一番町四丁目地区・定禅寺通地区においては「イベントと連携した遊び場の創出」を狙いとしてイベントや各種調査を実施した。

各狙いの調査結果と期待される施策は次のとおり。

西公園北側地区

アンケートからは、既存のプレーパーク活動への高い評価とともに、より一層のプレーパークの開催日数の増加や食事施設、屋根空間、授乳室等の共用施設の充実といったニーズが伺え、プレーパーク活動への参加機会の充実や、公園の共用設備の充実に向けた整備が求められている。

また、活動団体へのヒアリングでは、活動上の課題として、プレーリーダーとなる人材の不足やスタッフを雇うための資金不足による開催日数の減少が挙げられた。これらの課題に対しては、講習の実施等によるプレーリーダーの育成やプレーパークの開催支援の取組が求められている。また、期待する支援策として、遊び場に関する情報が届きにくい子育て家庭に対する情報発信が挙げられ、そのような子育て家庭でも必要な情報に簡単にアクセスができるように、様々なツールを用いた情報発信の強化が求められている。

一番町四丁目商店街・定禅寺通中央緑道

本業務では2会場をケーススタディに「遊び場とイベントとの連携」について検証を行った。

定禅寺通中央緑道については、立地的なポテンシャルは評価されるものの、スペースや舗装といった物理的な制約による遊び場としての課題が示された。

一番町四丁目商店街では、広域から多様な目的で来街される子育て世帯に対し、気軽に自宅でも援用できるコンテンツの遊び場を提供することで、参加者と商店街双方から良好な評価を得ることができた。

また、関係者へのヒアリングからは、子育て支援団体、イベント主催者、商店街組織それぞれのニーズや課題に共通点が伺え、それぞれ他団体とのつながりがなく、相互に連携ができていないという課題が共通して挙げられた。それらの団体間を仲介支援することで、各団体の強みが発揮され、イベントと遊び場の効果的な連携が可能であると考えられる。イベントと連携した遊び場を継続的に実施することで、子育て世帯の滞在時間増加による商店街への経済的な効果や、子育てフレンドリーな店舗・サービス環境へ

のきっかけづくりといった副次的な効果による相互のメリットも期待される。

加えて、連携をより促進させるための支援策として、子育て世帯への広報支援は各分野の団体から求められており、特にイベントの集客の後押しとなることでこの連携の仕組みの持続性を支えることにもつながるものと考えられる。

また、イベント主催者等から意見のあったイベントでの遊び場等に対する金銭的な補助は、遊び場自体が直接的な収益に繋がりにくいという課題に対するインセンティブとして機能するものと考えられ、支援策の一つとなる可能性がある。一年を通して大小様々なイベントや祭りの開催がある本市において、それらのイベント等に合わせて遊び場を展開することは、その都市の特性を生かした子育て支援施策にもなりうる。市民のみならず観光客などの来街満足度を高める効果も期待されることから、イベント規模に応じ観光施策と連動させることも考えられる。